



まがたま

一人一人が輝く学校・地域と共に歩む学校

令和6年 4月24日

豊玉中学校だより No. 12

【E-mail】shimura.osamu@nerima-ky.ed.jp

【URL】<https://www.nerima-ky.ed.jp/toyotama-j/>

昨年度に引き続き本年度も校長を務めます慶野 富士夫でございます。2年目を迎えました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の3月は例年より気温が低く、桜の花が咲き誇る中、始業式、入学式を迎えることができました。入学式が終わり、全校生徒278名でのスタートとなります。入学式ではあいにくの雨(嵐?)でしたが、新入生の初々しいながらも決意に満ちた返事や姿勢、在校生の成長が見える態度により、感動的で素晴らしい式にすることができました。最悪の天候で始まったので、これからは干支の龍が如く右肩上がりにしかならないと考え、教育活動を展開していきたいと考えています。これからも生徒主体の取組により、保護者の皆様から信頼され、地域と共に歩む学校を目指し、教職員一同努力してまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和6年度 始業式

4月8日(月)に令和6年度始業式が行われ、新2・3年生計186名が進級しました。保護者の皆様おめでとうございます。以下が始業式での校長講話になります。

～ 一部省略 ～

さて年度初めの始業式にあたり「感動はもらうだけでなく、与えられるものである」という話をします。

今年はオリンピックイヤーです。どこで開催されるか知っていますか？フランスの首都パリで開催されます。オリンピックは4年に一度ということもあり、数々の感動を私たちに与えてくれます。そこで、中学生で金メダルを獲得したアスリートを調べてみました。中学生金メダリストは2人いて、一人目は、岩崎恭子(いわさき きょうこ)さんです。岩崎さんは1992年バルセロナ大会、競泳女子200m平泳ぎで金メダルを獲得しました。もう一人は、前回の2021年東京大会、スケートボード・ストリート女子で金メダルを獲得した西矢栞(にしや もみじ)さんです。皆さんと同じ中学生が金メダルを獲得したということは、才能に恵まれたことだけでなく、本人たちの不断の努力によるものであるのは疑う余地はありません。このようなことを話す皆さんは「私たちも金メダルを獲得して感動させればよいのですか？」と思う人がいるかもしれません。オリンピックでなくても確かに大会などで成果が上がれば感動します。しかし私が伝えたいのはそういうことではありません。

私は30年以上教員をしています。それぞれ勤務した学校で、運動会で精一杯競技に取り組み、声の限り仲間を応援する姿に感動をもらってきました。合唱コンクールでは、なかなか学級がまとまらずに苦勞して練習し、当日は心を合わせ、一生懸命に歌う歌声に感動をもらってきました。卒業式で別れを惜しみつつ、未来に向かって胸を張って卒業し、学校を後にする生徒たちの後ろ姿に感動をもらってきました。昨年、初めて校長になり、豊玉中学校に着任しましたが、ここ豊玉中学校でもたくさんの感動を味わわせてもらいました。それだけでなく、学級担任や授業で英語を教えていた頃は、長く休んでいた生徒が久しぶりに登校したこと、いつもは下をうつむいていた生徒が顔を上げて「おはようございます」と挨拶してくれるようになったこと、授業中自信なげに手を挙げ、初めて発言してくれた生徒にも感動しました。なかなか宿題を提出できない生徒がやっと提出できたときも授業中に「わかった」と言ってみせてくれた笑顔にも感動しました。皆さんからすると当たり前のことなのかもしれません。でもそんな当たり前のことでも人を感動させることができるのです。

私には3人の子どもがいます。皆さんも同じでしたが赤ん坊のころは何もできません。しかし無事に生まれてきた瞬間や何もできないのですがにっこりとほほえんだ瞬間にとっても感動したことを覚えています。家族にとって、周りの大人にとっては、皆さんが元気に当たり前のことをすることで感動をします。皆さんにはそういう力があるのです。だからこそ、健康に注意して明るく過ごしてください。学校に来て当たり前のようにあいさつしてください。本当に辛いときには心を休め、学校に来られなくても家庭で元気でいてください。授業にも行事にも精一杯取り組んでください。失敗してもうまくいかなくてもあきらめず努力し、前進する姿に大人は感動するものなのです。今日から令和6年度がスタートします。明日からは全校生徒が揃います。またたくさんの感動をもらえることにわくわくしながら今日の話の終わりにします。お互いまたよい一年にいきましょう。

令和6年度 入学式

4月9日(火)には入学式が挙行され、新入生92名を迎えることができました。保護者の皆様、改めておめでとうございます。

～ 前半省略 ～

皆さんは中学校へ入学し、「児童」から「生徒」へと呼び名が変わりました。これまで小学校では保護者や先生といった大人が道を示し、導いてくれました。しかし、中学校では自ら道を切り開き、進んでいかなければなりません。さらに中学校生活3年間で義務教育が修了します。「義務教育が修了する」ということは、中学校を卒業したら「大人としての行動をなさい」という意味であると私は考えています。ですから、中学校3年間は大人になるための準備期間になるのだと思います。

「大人になる」ということは、自分で考え、自分で判断し、行動することです。もちろん自分が行ったことには責任をもたなければなりません。中学校を卒業したら自立した大人になってほしいと思います。そこで3年間という短い中学校生活を充実させ、自ら生きる力を身に付けていくための心構え、心がけについて話をします。

今年はフランスの首都、パリでオリンピックが開催されます。前はコロナ感染症の影響で1年遅れましたが、ここ東京でオリンピックが開催されました。前回2021年の東京大会でメダルの獲得数が最も多かった競技は何だかわかりますか？メダル獲得数が最も多かったのは「柔道」です。柔道は「嘉納治五郎」という人が日本古来の柔術をもとに進化、再編し、1882年、明治15年に始めた武道です。嘉納治五郎先生は武道家であり、現在の筑波大学の学長を20年以上の長きにわたり務めた教育者でもありました。柔道を始めた目的は、青少年に対し、稽古を続けていくことで心と体を鍛え、人格の完成をはかり、社会貢献できる人間になることと示されています。嘉納治五郎先生は柔道を日本だけでなく世界中に普及していく中で数多くの言葉を残しています。その中から3つ紹介していきます。

一つ目は、「精力善用(せいりよくぜんよう)」です。これから新入生の皆さんが中学校生活の中で学力や体力、精神力など多くの力を身に付けていくことになります。その身に付けた力を最大限に利用して最もよいと判断したことに、世の中の役に立つように使いなさい、ということを表しています。では最もよいと判断したことに、役に立つようにとはどういうことでしょうか。

それが二つ目の「自他共栄(じたきょうえい)」になります。相手に対し、尊敬し、感謝をすることで信頼し合い、助け合う心を育み、自分だけでなく他人と共に栄えある世の中を作っていくこと、「自分が幸せでありたい、よくありたい」と思うならば、同様に、他人に対しても同じ接し方をしないといけないということです。最近では「well-being(ウェルビーイング)」という言葉がよく聞かれます。ウェルビーイングとは、身体的、精神的、社会的に良好な状態で、「持続的な幸福感」と日本語に訳されることがあります。自分だけでなく、友人や学校、地域社会、日本さらには世界中がよい状態に、幸せを感じられるようにしていこうという考え方になります。自他共栄とウェルビーイング、ほとんど同じ意味と捉えてよいと考えています。私自身そう考えたとき、100年以上も前に自他共栄を唱えた嘉納治五郎先生の先見性に驚くとともに、100年以上も達成されていないことに少し残念な感情をもちました。だからこそこれから未来を生きる皆さんに達成して欲しいと心から願っています。まずは中学校生活から思いやりの心を大切に、協力して生活していきましょう。

そして三つ目は、「尽己瘳成(じんきしせい)」です。「おのれをつくしてなるをまつ」難しい言葉です。自分の力を尽くして努力した上で、成功や成就を期待すべきである、という意味になります。また、力を尽くし切っていないのに失敗を運や周りの環境、他人のせいにしてはいけない。幸運を望む前に、まず自分の力を尽くしなさい。さらに、失敗した不運を嘆いて努力を止めてはならない。あきらめず我慢と努力を続ければ、成功したり、目標が達成されたりする。成功者は、努力の限りを尽くした結果、自身の運命を拓くことができた、ということを表しています。

これからの中学校生活で様々な困難、予測できないことが起こるかもしれません。また自分の思うとおりに物事が進まない可能性も大いにあります。そんなとき決してあきらめず努力を継続し、乗り越えていって欲しいと思います。本当につらいときには後ろにいる家族や上級生、周りにいる先生や地域の方々もいます。そして大勢の仲間がともに悩んでくれます。相談したり、支え合ったりしていきましょう。

結びになりますが、ご臨席のご来賓の皆様、保護者の皆様、在校生の皆さん、教職員一同、一丸となり、新入生の今後の活躍と成長を見守っていきましょう。さらに新入生の皆さんとともに、豊玉中学校をさらに発展させていきましょう。皆さん、服装、姿勢を正し、帯をぎゅっと締め、準備はよろしいでしょうか。「では、始め！」

令和6年度 教職員の異動等について

【転出等】

谷 信彦 主幹教諭
江 澤 尊 宏 主幹教諭
新 川 直雄 規 主任教諭
萩 田 有 美 主任教諭

練馬区立田柄中学校へ（副校長昇任）
新宿区立落合第二中学校へ
江戸川区立西葛西中学校へ
東村山市立東村山第七中学校へ

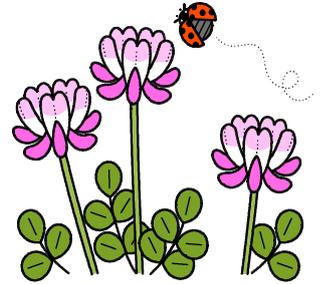
本校7年勤務
本校5年勤務
本校6年勤務
本校5年勤務

【転入等】

市 川 太 郎 主任教諭（社会）
大 滝 龍 太 主任教諭（理科）
坂 元 大 輔 教諭（数学）
横 沼 瑛 人 教諭（英語）

練馬区立旭丘中学校より
江戸川区立鹿本中学校より
新規採用
新規採用

【休職】 谷 口 直 子 主任教諭（美術） 令和7年3月31日まで育休
竹 内 美香子 主任教諭（数学） 令和7年3月31日まで病休



各学年の教職員

【第1学年】 学年主任：市 川 太 郎
A組担任 今 奏 乃 教諭（家庭）
B組担任 市 川 太 郎 主任教諭（社会）
C組担任 杉 本 順 一 主幹教諭（英語）
副担任 坂 元 大 輔 教諭（数学）
副担任 梶 山 日 花 教諭（美術）
学年付 熊 木 由美子 主任養護教諭（養護）

【第2学年】 学年主任：山 口 弘 子
A組担任 湯 本 清 人 教諭（数学）
B組担任 水 野 直 子 主任教諭（国語）
C組担任 山 口 弘 子 主任教諭（保健体育）
副担任 大 滝 龍 太 主任教諭（理科）
副担任 横 沼 瑛 人 教諭（英語）

【第3学年】 学年主任：柳 井 理恵子
A組担任 関 口 玲 主任教諭（英語）
B組担任 丸 田 尚 哉 教諭（社会）
C組担任 井 出 一 恵 主任教諭（理科）
副担任 柳 井 理恵子 主任教諭（国語）
副担任 秦 明 彦 主任教諭（音楽）
副担任 村 上 綺菜実 教諭（数学）

= 豊玉中の教育を支える職員 =

【事務主事】 反 町 直 美
【栄養士】 市 川 祐 子
【特別支援教室専門員】

竹 内 登美子

【特別支援教室巡回指導教員】

増田美千代・嶋田公美・阿左美 潤

【副校長補佐】 高 橋 泰
【学校生活支援員】 遠 藤 仁 美
【スクールサポートスタッフ】

小 林 一 郎

【事務補助員】 波田野 美 紀
【スクールカウンセラー】

長 根 結 花

【心のふれあい相談員】

林 屋 裕 子

【学校支援コーディネーター】

東 條 美 夏・久保田 ふみ子

【用務】

小 林 克 彦・青 島 素 子

講師の先生方

【理 科】 鈴 木 和 之
【英 語】 佐々木 敢
【保健体育】 中 島 啓 太
【技 術】 砂 生 幹 雄

令和6年度がスタートをして早3週間が過ぎました。学年・学級開きも順調に進み、現在は教科等の授業が本格的に始まったところです。昨年度は、生徒の、生徒による、生徒のための活動として「まがたまプロジェクト」がスタートしました。公式キャラクター「まがちい」や新入生を花いっぱいの中で迎える取組など、生徒が考える企画は、心があたたかくなる素敵な企画です。「まがちい」のファイルは、配布される様々なプリントを整理するのに役立つのと同時に、その瞬間に目に入る「まがちい」に元気をもらいます。入学式のチューリップはその花を咲かせた後、新たに次の球根をつくるという話、心が躍りました。

今年度も「人間を育てるのは、人間だ」のイズムのもと、教育活動を行っていきます。

今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

（副校長 志村 修）